

令和元年度

# 学校評価特集号

天童市立干布小学校

令和2年2月20日

TEL 654-2307

FAX 654-2292

## アンケートへのご協力ありがとうございました

日頃から、本校の教育活動にご理解とご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、干布小学校では、今年度「心豊かにたくましく伸びていく子供」を学校の教育目標に掲げ、4つの学校経営の重点に計11項目の具体策を設定し日々の教育活動に努めてまいりました。

ご協力いただきましたアンケートを分析・考察した結果、教育活動の質的向上に向けて改善すべき点、さらに努力すべき点が明らかになりました。この結果を真摯に受け止め、課題は具体的な対策を講じて改善を図るとともに、良好だった項目は、より成果があがるように取り組むことで児童の健全育成を進めてまいります。児童の健全育成に向けて大切なことは、学校・家庭・地域が担っている役割をそれぞれが果たすだけでなく、互いに理解し合い、手を携え、協力しあうことだと考えます。この度のアンケートに限らず、学校への忌憚ないご意見やご指導くださいますようお願いするとともに、今後とも、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 令和元年度 学校経営の重点と具体策

### 経営の重点1 自ら考え、学び続ける子供

- 校内研究「付きたい力を明確にした学習指導」の日常化
- 教育内容をつなげ生活に広げるカリキュラムづくり
- 新しい教育に向かう条件整備

### 経営の重点2 思いやりをもち、つながりを深める子供

- 生徒指導を基盤とした教育活動
- チームで取り組む特別支援教育
- 実感のある道徳教育

### 経営の重点3 生命を大切にする子供

- 読書活動を広げる
- 健康教育の充実
- 安全教育の推進

### 経営の重点4 ふるさとを愛する子供

- 保護者との温もりのあるつながり
- 地域との温もりのあるつながり

## 研究テーマ「追及する子供 追及するクラス」

～付きたい力を明確にした学習指導～

教育活動を貫く  
キーワード

つなぐ・深める

## \*\*\*\*\* 保護者アンケート結果の考察 \*\*\*\*\*

### ◆ 1 (1) 『学習内容の理解』

「よくあてはまる」「あてはまる」が微増となり、「あまりあてはまらない」は微減する結果となりましたが、「まったくあてはまらない」との回答がありました。一人一人の学習状況を丁寧に把握するとともに、学習内容の理解・定着に向けてどのような取り組みが効果的かを考えながら、学習指導にあたってまいります。

### ◆ 1 (2) 『家庭での自学』

「よくあてはまる・あてはまる」が減少しました。昨年度0%になった「まったくあてはまらない」も今年度は3%となりました。「あまりあてはまらない」と合わせると全体の4分の1強が、家庭での学習を自分で進めることがあまりできていない状況となります。自立した学習を進めることができるよう、主体的に学習に取り組む態度の育成や探究的な学習の推進を進めてまいります。学習が教室・学校に閉じず、自立（自律）的に学習に取り組めるよう指導の在り方を研究してまいります。

### ◆ 2 (2) 『いじめなどがない楽しい学校生活』

「よくあてはまる・あてはまる」が微増となり昨年度から引き続きよい状況を維持しています。しかしながら、これまでもいじめはありましたが、今年度もいじめはあります。全体的な傾向に気を抜くことなく、早期発見・早期対応に努め、いじめの解消に向けて丁寧に対応しながら、楽しい学校づくりに向けて今後も取り組んでまいります。

### ◆ 3 (1) 『読書に親しみ、本をたくさん読んでいる』

昨年度同様に課題となっています。同項目の児童アンケートでは、80%の児童が「あてはまる・よくあてはまる」と回答しており、図書室の貸し出し冊数も、減少している訳ではありません。児童と保護者のズレは、読書が学校生活中心に行われ、家庭生活への広がりが進んでいないことが一因と考えられます。図書室の本を家庭で読むような課題や図書館の利用促進など、家庭との連携を図りながら読書生活の充実に取り組んでまいります。

### ◆ 3 (2) 『基本的生活習慣の形成』

昨年度よりもさらに「よくあてはまる・あてはまる」が減少しています。基本的生活習慣がよく身につけているとは言えない状況のようです。食生活や生活リズムの乱れ、ゲームのしすぎが、学習内容の定着や人間関係形成に影響を及ぼすことがいろいろな調査によって指摘されています。読書と同様に、家庭との連携を図りながら取り組んでいく必要があると考えています。

### ◆ 3 (5) 『交通ルールを守る』

「あてはまる」「よくあてはまる」が高い数値を維持していますが、昨年度と比べると「あまりあてはまらない」との回答が増加しています。登下校の歩き方や外出時の自転車乗りの安全について引き続き学校で指導してまいります。ご家庭でも交通安全について繰り返し話題にいただけるとありがたいです。

## \*\*\*\*\* 児童アンケート結果の考察 \*\*\*\*\*

### ◇1 「学習課題がわかり自分で解決しようと努力している」

99%の児童が「よくあてはまる・あてはまる」との回答でした。問題意識と目的意識をもって授業に臨み、主体的に学習を進めていることがうかがえます。主体的な学習が、着実な成長につながるように、内容理解だけでなく、新しい学習指導要領で求められている資質・能力がより一層育成されるように支援してまいります。

### ◇2 「友達の考えをよく聞いて自分の考えを発表している」

「よくあてはまる・あてはまる」の回答が増加しています。「聴く」と「話す」は、学習の根幹です。他者の考えを聴くことで、自分の考えと比べ、その結果、自分の考えを広げたり、深めたりすることができます。自分の考えを発表することは、自分の考えを確かなものにつなぐことができます。学習中の「聴く・話す」は学力形成に欠かせないものであることから、引き続き「他者の話を聴くこと」「自らの考えを話すこと」の指導に力を入れて取り組んでまいります。

### ◇4 「先生に自分の気持ちをよく話している」

昨年度から今年度9月までは減少傾向にあった項目ですが、今年1月の調査では、「よくあてはまる・あてはまる」が増加しています。「友達の考えをよく聞いて自分の考えを発表している」の項目とも関連が強く、いずれも好結果になっています。今年度、「信頼」と「温もり」を干布スピリットに掲げ、児童を一人の人格として尊重するやさしくあたたかなかわりと、そのかわりの中で信頼関係を構築することを大切にまいりました。こうしたことが、学校生活の安心感につながり、落ち着いた学校生活の雰囲気醸成されたのではないかと考えています。「みんながよく話を聞いてくれる、聞いてくれるから安心して話せる」という好循環を目指していきたいと考えています。

### ◇12 「登下校時、交通ルールを守って歩いている」

全児童が「よくあてはまる・あてはまる」と回答していました。これまでの家庭での声かけや地域の皆様の見守りの成果と考えています。質問は、登下校に限定したものですので、登下校以外の場面でも同様に安全意識の高まりを目指す必要があります。遊びに行くときや自転車に乗るときなどでも、交通ルールを守り、事故のない安全な生活が送られるよう、引き続き指導してまいります。

### ◇14 「総合や教科の体験活動のあとに自分の考えを書いている」

9月と比べると、「よくあてはまる」と自信をもって回答している児童の割合が減っています。体験活動の後に振り返る機会を十分とっていますが、「体験したことを十分書き切った」という実感や書いた内容に納得が得られていないのかもしれませんが、よりよい学習となるように、体験活動後の表現活動の在り方を工夫してまいります。

### ◇15 「地域で、社会・理科・国語で学習したことを生かしている」（4～6年）

14と同様に「よくあてはまる」と自信をもって回答している児童の割合が減っています。3の「授業で学んだことを他の学習や生活に生かす」ともかわりが深い項目です。各教科で学んだ知識・技能・考え方を、ほかの学習や体験活動、日々の生活で活用しようとする意識がもてるようにしていくことが必要だと考えています。教科とのつながりを考えながら、干布地域にある素材を教材化するとともに、生きて働く学力が身につけられるように支援してまいります。

## 全体的な考察

### 経営の重点1 自ら考え、学び続ける子供

児童アンケートから、「学習課題がわかり、自分で解決しようとしている姿」がうかがえ、学習に取り組む姿に成長が感じられます。これは、学習活動中に友達の考えをよく聞き、自らの考えを発表しようとしている意識の高まりにも表れていると言えます。一方で保護者アンケートからは、家庭学習に結びついていない傾向がうかがえました。学校を離れても、「自ら考え、学び続けることができる自立した学習者」になれるよう指導してまいります。そのためにも、教科学習と実生活とがつながるカリキュラムづくりに努め、学習が自らの生活に広がるよう支援してまいります。

### 経営の重点2 思いやりをもち、つながりを深める子供

いじめに関して保護者・児童の両アンケートから、良好な状態を維持しています。しかしながら、程度の差はあるもののこれまでもいじめはありましたし、今年度もいじめはあります。一つ一つの事案に、丁寧に向き合い、その解消に向けて絶えず支援していくことが必要です。いじめ行為が見られるのであれば、毅然とした態度で指導するとともに、「いじめ行為がみられなくなったり、おさまったりした状態」に安堵することなく、子供の心情に寄り添いながら、当事者同士の関係回復や、心を受けたダメージの回復といった「解消」に向けて引き続き取り組んでまいります。

### 経営の重点3 生命を大切にする子供

早寝・早起きなど、基本的な生活習慣にかかわるアンケートでは、保護者・児童ともに「よくあてはまる」が減少しています。生活リズムを整えることは、健康的な生活だけでなく、「学力と相関関係がある」と言われていることから、大切にしていきたいと考えています。健康にかかわる教科学習を生かし実生活で実践できるように支援することで改善を図ってまいります。

また、あいさつについては、児童と保護者の間に乖離がみられました。児童が目指す「あいさつ」と大人が求める「あいさつ」像に相違があるのかもしれませんが、望ましいあいさつについて考えたり、相手意識をもってあいさつしたりできるよう指導してまいります。

交通ルールに関しては、良好な結果を維持しています。ルールを守るだけでなく、安全に関する思考力や危険を回避する判断力など、自分の身を自分で守ることができる力を育成してまいります。

### 経営の重点4 ふるさとを愛する子供

地域行事・活動への参加については、「あまりあてはまらない・あてはまらない」が微増しているものの、良好な結果といえます。地域の方から学校の教育活動に参加していただいたり、学習の場を地域に広げたりすることで、地域の良さをさらに感じ、地域とのつながりが深まっていくと考えます。引き続き、地域とのつながりを大切にするとともに、地域に学習したことを積極的に発信する機会をもつことで、地域の一員としての実感をもつことができるのではないかと考えています。

## ◆◆◆学校評議員会でのご意見<2月10日開催>◆◆◆

- \* 落ち着いたいい雰囲気です。授業が進められており、先生と児童の関係性もよい。
- \* いじめ事案に丁寧な真摯に取り組んでいることがわかる。
- \* 大規模校にはない、少人数ならではのコミュニケーションや関係性を生かした学力向上につとめられる環境にある。非認知スキルも学力であると保護者・地域へ伝えていくことが必要。
- \* 山形の子供はゲームやメディアにふれる時間が多い。認知スキル向上を目指し、家庭学習にもっと取り組むようPTAと一緒に取り組む必要がある。
- \* 様々な外部講師を招き、本物に触れさせる学習がよい。前例にとらわれず柔軟に考え、前向きに取り組んでいる点が良い。
- \* 児童数減ですもう大会などの行事運営は困難になるが、行事を変えるのも大変。知恵を出して、前もって手立てを講じ、よい形になるようにしてほしい。